

成蹊中学・高等学校

国際交流プログラム



成蹊中高国際教育部

2025 年版

△ 長期留学 1年あるいは1年以上で単位を認定するもの

① セントポールズ校(St. Paul's School, SPS)

高1～（応募時中3以上）

アメリカ <https://www.sps.edu/>

アメリカ合衆国、ニューハンプシャー州にある世界屈指の全寮制プレップスクールで、いわゆるテンスクールのひとつ。ケリー元国務長官、ムラー特別検察官らを輩出。成蹊からの最初の留学生は榎原稔氏（三菱商事元社長・会長）。成蹊生用ファンドで留学。2019年に交流70周年を迎えました。卒業生の多くは世界トップクラスの大学に進学します。



留学期間	募集翌年の9月～（成蹊を退学して留学し、多くの場合は同校を卒業しますが復学も可能。基本的に1年のプログラムですが、SPS卒業には2年以上の在学が必要です）
費用概算	留学1年目の学費、寮費等（年額約68,353ドル）のほとんどは奨学金としてセントポールズが負担（2年目以降は自費）、三菱奨学金対象（応募要件あり）。
募集人数	毎年1名

② チョート・ローズマリー・ホール校 (Choate Rosemary Hall)

高1～（応募時中3以上）

アメリカ <https://www.choate.edu/index.cfm>

コネチカット州フリンクフォードにある寮生および通学生からなる伝統校で、SPS同様、広大な敷地を誇る全米テンスクールの一つ。J.F.ケネディ大統領やマイケル・ダグラスの出身校として有名。2016年、日本から村田奨学生派遣が始まりました。



留学期間	募集翌年の9月～（成蹊を退学して留学）。留学期間はチョートに申請し、審査の上で延長可能。
費用概算	年額約70,370ドル。村田奨学生は、留学1年目の学費、寮費が免除（2年目以降は自費）。三菱奨学金対象（応募要件あり）。
募集人数	毎年1名

③ セント・ラファエルズ・カソリック・スクール (St. Raphael's Catholic School)

高1～（応募時中3以上）

オーストラリア <https://www.straphaelscowra.catholic.edu.au>

ニューサウスウェールズ州カウラ市にある私立校。カウラ郊外には第2次世界大戦中に捕虜収容所があり、そこで痛ましい日本兵捕虜の集団脱走事件（1944年8月5日未明）がありました。戦後、カウラ市長の提案を受けて、まず成蹊高校とカウラ高校との間に日豪の和解と友好のための高校生交換留学プログラムが発足しました。成蹊とカウラ市は2020年に50周年を迎え、2024年より新たにセント・ラファエルズ・カソリック・スクールとの交流が始まりました。



留学期間	募集翌年の3月末か4月～3月（1年後に成蹊に復学）
費用概算	留学中の諸費用はカウラ側が負担。三菱奨学金対象（応募要件あり）。成蹊の学費減免あり。
募集人数	毎年1名

B ターム留学 (1 学期間)

ターム留学

高1、高2

カナダ

2022 年度から開始した新規プログラムです。3 学期 (1 月～3 月) にカナダに留学します。現地到着後、2 週間程度バンクーバーで語学研修を行い、その後はバンクーバー郊外の現地の高校に通います。

留学期間	1 月～3 月
費用概算	約 200 万円。成蹊の学費減免あり。 助成金支給の可能性あり。
募集人数	20 名程度



C 短期留学 (2 週間～)

① ケンブリッジ大学 (Cambridge University) 夏期短期留学

高1～高3

イギリス <http://www.pem.cam.ac.uk/>

ケンブリッジ大のカレッジでも3番目に古いペンブルック＝カレッジ (Pembroke College) が運営するサマースクール (約3週間) で、英語学習のほか、英国の社会・文化・建築を中心とした視覚芸術などを学習します。同大の大学生・大学院生が PA (Programme Assistants) として同カレッジの宿舎に同宿し、本物のカレッジライフを体験します。数々のリクリエーションや遠足を含みます。

留学期間	7月中旬～8月上旬 (3週間)
費用概算	約 115 万円 (条件により奨学金あり) 助成金支給の可能性あり
募集人数	25～29 名

街全体が博物館のようなケンブリッジは、歩くだけでも歴史的建造物に次々出会います。建築、美術の先生から講義をうけながら町を歩き、作品鑑賞することも、生きた勉強になるでしょう。多くの参加者にとって一番心に残るのは、PA たちとの交流のようです。



② セント・ラファエルズ・カソリック・スクール 夏期短期留学 (隔年実施) 次回は2026年度実施予定

中3

高1

オーストラリア <https://www.straphaelscowra.catholic.edu.au>

長年にわたり交換留学制度を通じて日豪友好親善関係の一翼を担ってきた成蹊中高とカウラ市。2024 年度からカウラ市にある私立校、セント・ラファエルズ・カソリック・スクールへの短期留学 (約2週間) を実施しています。ホームステイでカウラ市民と交流しながら学ぶことに大きな意義があります。1 回の遠足およびシドニー観光もプログラムに含まれます。



留学期間	7 月下旬～8 月上旬 (約2週間)
費用概算	約 45 万円、助成金支給の可能性あり
募集人数	16 名

③ カリフォルニア大学デービス校（UCD）春期短期留学

中3

高1～高2

アメリカ <https://www.ucdavis.edu/>

2014 年春から始まった「英語でキャリア」プログラムです。Davis は町の人口のほとんどが UCD 関係者で占められる大学町です。原則として 2 人 1 組でホームステイをしながら平日は UCD に通い、自己の将来の夢を見つめ、それを表明するプレゼン力を鍛えます。途中、デービス高校生との交流やスタンフォード大学やベンチャー企業訪問、ボランティア活動なども盛り込んだプログラムで、最終日には一人ひとりのプレゼンテーションがあります。



留学期間	3 月下旬～4 月上旬（約 2 週間）
費用概算	約 80 万円
募集人数	20～35 名程度（最少催行人数 20 名）

④ 北欧夏期短期留学

（隔年実施） 2025 年度実施

高1～高3

デンマーク <https://rungsted-gym.dk/>

スウェーデン <https://cis.se/>

デンマークの首都コペンハーゲン郊外の私立伝統校ルンステッド高校と、スウェーデンの古都カルマル市にある私立の新設校カルマーレ国際高校を訪問するホームステイプログラム。日本語を学ぶ両校の生徒を成蹊中高でも受け入れており、相互訪問の交流を継続しています。



留学期間	8 月中旬～8 月下旬（約 2 週間）
費用概算	約 70 万円 助成金支給の可能性あり
募集人数	18 名（最少催行人数 12 名）

⑤ ニュージーランド短期留学

中2～中3

2024 年度から始まった新規の留学プログラムです。ホームステイ体験、異文化体験とリンクした英語研修を柱としています。異文化を体感しながら国際理解を深めること、現地での生活に必要な英語力や交流のマインドを養成することを目的としています。



留学期間	12 月中旬～12 月下旬（12 日間）
費用概算	約 65 万円
募集人数	20～30 名

⑥ チョート・ローズマリー・ホール校 (Choate Rosemary Hall)

サマースクール

中3(応募時中2)

高1～高2(応募時中3～高1)

アメリカ <https://www.choate.edu/>

2015 年から始まったプログラム。参加者は 1 学期末の成蹊中高での授業と期末試験は公欠扱いとします。村田奨学生が約 3 名選ばれますが、自費での参加が許可となる場合もあります。成蹊生は ESL コースを選択できないため、授業に即参加できるレベルの英語力が必須です。

留学期間	夏期 2・4・5 週間のコースから選択
費用概算	\$10,910 (通常の 5 週間コースの場合)。村田奨学生は全額免除
募集人数	数名



⑦ フィリップス・エクセター・アカデミー校 (Phillips Exeter Academy)

サマースクール

中3(応募時中2)

高1～高2(応募時中3～高1)

アメリカ <https://www.exeter.edu/>

テンスクールの最高峰に位置する伝統校で、『ダヴィンチコード』のダン＝ブラウンや Facebook 創設者のマーク＝ザッカーバーグ、数学者望月新一氏らを輩出。2015 年秋に同校の理事長と日本語担当教諭が成蹊を訪問、2016 年の 6 月に同校サマースクール生 7 名、2 学期にはターム生 5 名を成蹊が受け入れました。2016 年から同校サマースクールへの成蹊奨学生の派遣が始まりました。コースは 100 以上で多岐にわたりますが、派遣時に高 1 以上であれば、英語力増強のための ESL コースを選択することもできます。

留学期間	7 月上旬～8 月上旬 (5 週間)
費用概算	寮費・学費 (\$11,000) は全額免除 (成蹊奨学生)
募集人数	数名



⑧ イーグルブルック・スクール (Eaglebrook School)

グローバル・リーダーシップ・プログラム

中2～中3

アメリカ <https://www.eaglebrook.org/>

マサチューセッツ州ディアフィールド市にある名門全寮制男子中学校が実施するアジアの中学生向けの 2 週間プログラム。日本では成蹊・開成・早稲田・慶應などの生徒対象。普

段は男子校ながら、通常のサマースクール (米国内および世界各国から参加する 7 月プログラム) は女子生徒も多数参加し、日本の夏休みに入ってから行われるこのプログラムも男女共学で実施されます。生徒 3 名につき 1 名の割合で教員がついて指導にあたります。ハーバード大学・MIT 訪問やキャンプなどの校外学習もあり、英語でのプレゼンが課されます。

留学期間	8 月上旬～中旬 (2 週間)
費用概算	\$5,350 (寮費、学費、空港・学校間移動費) ※航空券、旅行保険を除く
募集人数	全体で 50 名ほど



D 国内プログラム

Global Studies Program 校内

中3

高1～高3

通学型「校内留学」プログラム。生徒6～7名に1名の外国人大学生・大学院生がグループリーダーとしてつき、すべて英語でディスカッションを行います。外国人大学生は全員、海外大学在籍または国内有名大学に留学中の大学生です。ディスカッションを通して自分の持つスキルや才能、強みに気づきます。最終日にはプログラムの集大成として、英語でひとりひとりプレゼンテーションをします。



実施期間	7月中旬（5日間）
費用概算	59,000円
募集人数	30名以上

Pre-Global Studies Program 校外

中2

中学2年の希望者を対象とした、三日間にわたる英語漬けの課外プログラム。ALL ENGLISHで、全体を外国人講師がリードし、世界各国から来ている留学生グループリーダーとして小グループにつきサポートします。将来の夢などについても話し合います。

実施期間	2月初め
費用概算	40,000円程度



イングリッシュシャワープログラム 校外

中1

中学1年の希望者を対象とした、二日間にわたり英語漬けの体験をする課外プログラム。飯田橋のブリティッシュ・カウンシル東京で行います。日本と英国の学校、文化の違いや表現の違いなどを学びます。

実施期間	2月初め
費用概算	15,000円程度



基礎・中級 TOEFL / IELTS 講座 校内

中2～中3

高1～高3

留学専門予備校のトフルゼミナール留学センターの日本人とネイティブスピーカーの講師がTOEFL/IELTSの傾向に応じて指導します。在学中あるいは大学入学後に海外留学を考えている生徒やSPSへの出願を考えている生徒、また英語力を上げたいと考えている生徒が、TOEFL/IELTSの対策を通して4技能を伸ばすことを目的としています。

実施期間	5月～6月の授業期間（全10回）
費用概算	約45,000円 （受講者数により若干変動します）
募集人数	各クラス20名程度

E 校内の国際交流

成蹊では海外への送り出しだけでなく、様々な国からの短期・長期の留学生を常時受け入れており、授業、クラブ体験、イベントを成蹊生と共にしています。校内においても様々なレベルの国際的交流の機会があります。

<長期（一年間）留学生の受け入れ>

オーストラリア・カウラ市のセント・ラファエルズ・カソリック・スクール、アメリカのセントポールズ校、AFS、YFU財団を通して世界中から毎年数名の留学生を受け入れています。

<短期留学生の受け入れ>

オーストラリア・カウラ市のセント・ラファエルズ・カソリック・スクール、スウェーデンのカルマーレ国際高校、デンマークのルンステッド高校、インドネシアのピナ・ハンサ高校の生徒の他、AFS、YFU財団を通して世界各国の高校から留学生が来校しています。

<ホストファミリー大募集！>

さまざまな国から親元を離れて日本にやってくる留学生のホストファミリー。ご家族の皆様にとっても、彼ら・彼女らの親代わりとして、そしてホストブラザー、ホストシスターにも生涯忘れることのできない貴重な体験が待っています。ご応募をお待ちしております。



成蹊の国際理解教育の特徴

- 1) 分厚い伝統と、豊富なプログラム群
- 2) 国境を越えた人々との交流から学ぶ「ほんもの」の国際理解教育
- 3) 進路・志望を限定することなく、深い国際経験を積むことが可能
- 4) 海外で学ぶための手厚い学習支援環境

1) 豊富な選択肢から自分にあったプログラムを選べます。

英語が得意でないけどやってみたい、忙しいけど数日間なら → 中学の語学研修、校内GSP

英語が得意な人にもお勧め

海外初挑戦したい 休暇中いろんな国で交流体験したい → 短期留学プログラム

長期の留学をしたい → 3学期だけのターム留学、1年間の長期留学

英語は堪能なのでハイレベルの交流をしたい → 米国有数の高校のサマープログラム

成蹊の国際交流は長い伝統を有し、アメリカのセント＝ポールズ校とは75周年、オーストラリアのカウラ市の学校とは50周年を超えるなど、交流の歴史を重ね、OGOBとの連携もあります。テンスクールズと呼ばれる北米の名門ボーディングスクール*10校のうち、3校と協定を結んでいることも特筆したい点です。近年は北欧のデンマークやスウェーデン、アジアへと交流の輪が広がっています。

* ボーディングスクール（Boarding School）は全寮制の寄宿学校。現在テンスクールズでは次世代のリーダーとなるべき若者が、全米のみならず世界各地から入学しています。成蹊はセント＝ポールズ校、フィリップス＝エクセター＝アカデミー校、チョート＝ローズマリー＝ホール校と協定を結んでいます。

2) 常時、海外から成蹊に留学生がきています。

成蹊にしながらどの在校生にも国境を越えたふれあいの機会が日常的にあります。

人数は年によって多少上下しますが、高校では、協定校や財団からの長期留学生在が常時2～3人以上、また季節ごとに短期やタームの留学生のグループが成蹊を訪れ、生徒の家庭にホームステイし、クラスに入り、一緒にクラブ活動しながら在校生と友情を育んでいます。ホストパディ、クラスパディや、有志生徒によるインターナショナル・アライアンスなどが、在校生と留学生の架け橋となって活躍しています。



3) 国際経験をつんだ卒業生の進路は多様です。

長期留学後に、国内大学の国際系学科へ行く生徒は相当数います。他方、留学経験者、帰国生の進学先は国内の難関国公立大、理系学部、医学部に進学するなど多様です。また海外大をめざす人も毎年一定数います。

4) 中高で留学する人にも、卒業後に海外進学したい人にもサポート環境があります。

次頁をみてください

<海外で学ぶための学習支援環境>

海外大学進学を考えている人へ

成蹊から海外の大学への進学者は半世紀以上にわたってコンスタントに出ていますが、最近では海外生活経験がほとんどなくても海外大学をめざし、進学する生徒も出てきました。

<成蹊ならではの海外進学支援環境>

海外大学準備講座 海外進学には長い期間をかけて準備することが望ましいです。必要な情報のとり方、スケジュールづくり、エッセイ作成等を学ぶ講座を2024年9月から開講します。

アカデミック・アドバイザーの個人指導 海外を目指す人は皆、出願までの全てのプロセスについて、経験豊富なライト先生の支援・指導を受けられます。

ライティング・ラボ 一対一の対話を通して、よりよい文章にする方策を、自分で気づけるようになるためのセッションを受けられます。チューターは芸大でもアカデミック・ライティングを指導している卒業生です。

海外進学した卒業生からのアドバイス 世界各地に進学した卒業生とのネットワークができており、帰国時やオンラインでのミニ説明会も随時行っています。

アカデミック・アドバイザー



米国大使館の留学説明会で講演をするライト先生

成蹊中高には、各種留学プログラム参加者や海外大学志望者を支援するアカデミック・アドバイザーが常駐し、海外で学ぶための準備講座を開講する他、個人指導としては出願校の選択、学習計画、エッセイ等出願書類作成のサポートを行っています。

担当の**マシュー＝ライト先生**は、アメリカのコネル大（政治学および東アジア研究）、中国留学、ヴァンダービルト大学院（教育経営学）を経て、和歌山県の教員生活（ジェットプログラム）、米大使館や企業でのコンサルタントを手がけてきました。現在は、豊富な経験と堪能な語学力を生かして、多くの生徒の留学支援をしています。

海外で学ぶための準備講座

海外プログラムの参加者や海外大志望者のためのライト先生による特別講座

アカデミック・スキル講座 留学プログラムの前に、英語で授業を受けるためのスキルをつけるための講座

上級 TOEFL 講座 海外大学等に応募する際に必要とされる TOEFL ハイスコアを狙うための講座

海外大学準備講座 英語圏の海外大学進学を考えている生徒のための講座

* 講座は無料、人数によって選考あり